

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	鈴与(株)福岡物流センターⅡ期工事	階数	地上5F
建設地	福岡県福岡市東区みなと香椎3丁目	構造	S造
用途地域	法22条区域	平均居住人員	42 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,650 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年2月 予定	評価の実施日	2019年11月18日
敷地面積	6,540 m ²	作成者	鈴与建設(株)一級建築士事務所
建築面積	4,743 m ²	確認日	2019年11月18日
延床面積	14,334 m ²	確認者	鈴与建設(株)一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.1 ★★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Q のスコア = 3.0</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア= 0.0</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.6</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.1</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア= 0.0</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.1</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア=3.2</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <ul style="list-style-type: none"> 高効率な設備機器の導入により環境負荷の低減を図るとともに、ライフサイクルCO₂排出量の低減に努めている。 	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 特に無し 	
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 評価対象外 	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐用年数の長い内装材・設備機器の採用により、建物の耐用性の向上に配慮している。 将来の用途変更の可能性等を考慮し、建物の階高、空間の形状・自由さのゆとりを計画している。 	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> 特に無し
<p>LR1 エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> 評価対象外 	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> 主要水栓は節水器具とし、節水便器を使用する等水資源の保護に配慮している。 躯体と仕上材の分離が容易であり、解体時におけるリサイクルを促進させる対策がある。 	<p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 燃焼機器の設置をなくし、大気汚染防止に配慮している。 周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される